



子どもたちの成長は、
町を支える大きな未来となる――

現代の保育現場

全国的に待機児童の解消と保育士不足が大きな問題となっている現代社会。芝山町においても近年、人口、出生数、就学前児童数などが減少傾向にある反面、核家族化や共働き世帯の増加により保育所の利用を希望する家庭は増加しており、保育士不足が深刻な問題となっています。

近年の保育では、子どもや保護者に対する一般的な支援だけでなく、3歳未満児への健康・安全に関するよりきめ細かい対応、食育の推進、発達段階に応じた幼児教育の充実、新型コロナウイルス感染症予防対策等の徹底など、保育所と保育士に対して求められる資質や専門性が多岐にわたります。

そのため、限られた職員数や環境の中で試行錯誤を繰り返しながら、さまざまな対応により子どもたちの成長を支援していかねばなりません。

芝山町の保育所

町内には保育所が3カ所あり、通常保育時間は午前8時30分～午後4時30分です。
※延長保育時間は午前7時～午後7時です。

〈第一保育所〉

現在入所児童数51人（1～5歳児で4クラス体制）、職員数13人

〈第二保育所〉

現在入所児童数54人（0～5歳児で5クラス体制）、職員数17人

〈第三保育所〉

現在入所児童数37人（1～5歳児で3クラス体制）、職員数11人



「先生のあたたかい手は落ち着くね」

Interview



第三保育所 高橋^{ひでこ}英子 所長

